

## 2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年4月12日

東

上場会社名 株式会社ジェーソン 上場取引所  
コード番号 3080 URL <https://jason.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 太田万三彦  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 山田仁夫 (TEL) 04-7193-0911  
定時株主総会開催予定日 2024年5月29日 配当支払開始予定日 2024年5月30日  
有価証券報告書提出予定日 2024年5月30日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年2月期の連結業績(2023年3月1日~2024年2月29日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	28,740	5.6	876	9.4	910	8.4	602	0.5
2023年2月期	27,226	3.6	801	△8.2	839	△8.4	599	5.2

(注) 包括利益 2024年2月期 602百万円( 0.5%) 2023年2月期 599百万円( 5.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	47.06	—	10.2	8.6	3.0
2023年2月期	46.82	—	11.0	8.3	2.9

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 一百万円 2023年2月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	10,766	6,120	56.9	477.76
2023年2月期	10,405	5,684	54.6	443.70

(参考) 自己資本 2024年2月期 6,120百万円 2023年2月期 5,684百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	551	△130	△239	3,927
2023年2月期	673	△155	△211	3,745

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年2月期	—	0.00	—	13.00	13.00	166	27.8	3.0
2024年2月期	—	0.00	—	13.00	13.00	166	27.6	2.8
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00		25.6	

## 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,600	2.5	690	2.5	710	2.8	430	△0.5	33.56
通期	30,000	4.4	990	13.0	1,030	13.2	650	7.8	50.73

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 社（社名）、除外 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期	12,812,000株	2023年2月期	12,812,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期	280株	2023年2月期	280株
③ 期中平均株式数	2024年2月期	12,811,720株	2023年2月期	12,811,720株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年2月期の個別業績（2023年3月1日～2024年2月29日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	28,781	5.6	816	1.7	854	1.3	544	△9.5
2023年2月期	27,244	3.7	802	△10.2	842	△10.2	601	2.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年2月期	42.51		—					
2023年2月期	46.96		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年2月期	10,699		6,060		56.6		473.08	
2023年2月期	10,386		5,682		54.7		443.57	

(参考) 自己資本 2024年2月期 6,060百万円 2023年2月期 5,682百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年3月1日～2024年2月29日)におけるわが国経済は、コロナ禍における行動制限の解除等により、緩やかに回復している一方で、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れがリスクとなっており、不透明な状況が続いております。

小売業界においては、値上げの浸透やインバウンド需要の拡大に加え夏の猛暑や秋口以降の気温の高止まり等が個人消費を押し上げた一方で、円安基調のなか仕入価格や各種コストの継続的な高騰に加え、物価上昇等により消費者の節約志向が一層強まるなど、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは引き続きPB商品やJV商品(※)の取扱強化、並びに徹底したローコストでの店舗運営を推進すると共に、店舗のスクラップ&ビルドを推進し、「人々の生活を支えるインフラ(社会基盤)となる」との企業理念の下、地域における生活便利店としてチェーンストア経営に注力して参りました。

当連結会計年度の売上高は、夏の猛暑に加え年間を通じて比較的高い気温の継続などを背景として、主力であるペットボトル飲料を含めた食料品を中心に順調に販売を伸ばしたほか、仕入価格転嫁による一部商品の価格引き上げも進み概ね好調に推移しました。一方利益面においては、継続的に仕入単価が上昇するなかロープライス戦略を堅持すると共に、各種コストの抑制や水道光熱費等の低減効果もあり、増益となりました。

出店状況については、2023年4月に茨城県神栖市の「神栖波崎店」、2023年6月に埼玉県熊谷市の「熊谷石原店」、2023年12月に茨城県つくば市の「つくばみどりの店」、計3店舗が開店した一方で、2023年8月に1店舗、2023年9月に1店舗、計2店舗が閉店し、直営店舗数は112店舗となりました。

また、当社PB商品である「尚仁沢の天然水」については、当社主力商品として盛夏の需要ピーク時を過ぎても安定的な需要に支えられ、1年を通して計画を上回る好調な販売実績となりました。子会社株式会社尚仁沢ビバレッジにおいては、大幅な増産により製造原価の低減が飛躍的に進み当期黒字化を達成すると共に、連結業績に大きく貢献しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は28,740,132千円(前期比5.6%増)、営業利益は876,378千円(同9.4%増)、経常利益は910,009千円(同8.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は602,899千円(同0.5%増)となりました。

なお、当社グループにおいては、小売事業以外の重要なセグメントはありませんので、セグメント情報の記載を省略しておりますが、当連結会計年度の販売実績を商品部門別及び地域別に示すと、次のとおりであります。

(※) JV(ジェーソン・バリュー)商品

当社グループの特別な集荷努力により、お客様と当社グループ双方にとってより有利さを実現した商品。

## (商品部門別販売実績)

商品部門の名称	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
衣料服飾・インテリア	656,725	98.9
日用品・家庭用品	6,532,137	98.4
食料品	19,172,939	108.8
酒類	1,286,433	100.4
小売事業小計	27,648,236	105.5
その他営業収入	1,091,895	108.1
合計	28,740,132	105.6

## (地域別販売実績)

地域の名称	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	
	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
千葉県	8,797,274	100.3
東京都	6,844,050	102.9
埼玉県	6,641,425	107.6
茨城県	3,742,163	116.1
栃木県	860,578	118.6
群馬県	762,744	112.7
小売事業小計	27,648,236	105.5
その他営業収入	1,091,895	108.1
合計	28,740,132	105.6

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産については、前連結会計年度末に比べ360,866千円増加し、10,766,362千円（前期比3.5%増）となりました。これは主に、有形固定資産が65,624千円および売掛金が65,379千円減少したものの、商品及び製品が328,971千円および現金及び預金が205,710千円増加したこと等によります。

負債合計については、前連結会計年度末に比べ75,481千円減少し、4,645,396千円（同1.6%減）となりました。これは主に、リース債務を含む有利子負債が37,589千円減少したこと等によります。

純資産合計については、前連結会計年度末に比べ436,347千円増加し、6,120,966千円（同7.7%増）となりました。これは、利益剰余金が436,347千円増加したことによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ181,706千円増加し3,927,321千円となりました。各キャッシュ・フローの主な増減要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは551,898千円の収入（前年同期は673,255千円の収入）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益の計上が886,197千円、減価償却費の計上が166,977千円であり、支出の主な内訳は、棚卸資産の増加額が324,963千円、法人税等の支払額が276,672千円あったこと等によります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは130,204千円の支出（前年同期は155,520千円の支出）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が216,059千円あったものの、定期預金の預入による支出が240,063千円、有形固定資産の取得による支出が80,342千円あったこと等によります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは239,988千円の支出（前年同期は211,249千円の支出）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が500,000千円あったものの、長期借入金の返済による支出が497,913千円、配当金の支払額が166,633千円及びリース債務の返済による支出が73,441千円あったこと等によります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しについては、長期にわたり続いてきたコストカット型経済から持続的な賃上げや活発な投資がけん引する成長型経済への変革が進むなか、小売業界においては業種・業態を超えた競合の激化が継続しており、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。加えて、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動など、先行きは引き続き不透明な状況です。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、「人々の生活を支えるインフラ（社会基盤）となる」との企業理念の下、P B商品やJ V商品の取扱強化に加え、当社の強みであるローコスト経営の推進と、適切な出店やセールスプロモーションの多様化などに注力して参ります。

また、新たなP B商品の開発・市場への投入等による利益率改善、オリジナル商品「尚仁沢の天然水」の増産による連結ベース収益拡大や、I T活用による各種業務の更なる生産性向上を目指し持続可能な成長を図って参ります。

次期の業績につきましては、売上高は300億円（前期比4.4%増）、営業利益は9億90百万円（同13.0%増）、経常利益は10億30百万円（同13.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は6億50百万円（同7.8%増）を見込んでおります。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。将来の国際財務報告基準（I F R S）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,015,272	4,220,983
売掛金	499,363	433,983
商品及び製品	2,106,785	2,435,756
原材料及び貯蔵品	20,795	16,788
その他	227,138	188,499
流動資産合計	6,869,356	7,296,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,112,828	2,127,166
減価償却累計額	△1,514,861	△1,566,418
建物及び構築物(純額)	597,967	560,747
機械装置及び運搬具	267,349	277,666
減価償却累計額	△238,400	△250,769
機械装置及び運搬具(純額)	28,949	26,897
工具、器具及び備品	518,186	504,245
減価償却累計額	△470,009	△464,987
工具、器具及び備品(純額)	48,176	39,257
土地	1,105,718	1,105,718
リース資産	409,830	411,331
減価償却累計額	△109,333	△138,532
リース資産(純額)	300,497	272,799
建設仮勘定	2,396	12,660
有形固定資産合計	2,083,705	2,018,080
無形固定資産		
のれん	1,015	900
その他	157,947	158,999
無形固定資産合計	158,962	159,900
投資その他の資産		
敷金及び保証金	948,517	958,102
繰延税金資産	202,524	199,533
その他	142,430	134,734
投資その他の資産合計	1,293,472	1,292,370
固定資産合計	3,536,140	3,470,351
資産合計	10,405,496	10,766,362

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,089,544	2,092,098
短期借入金	202,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	389,541	343,671
リース債務	75,437	75,204
未払金	367,380	364,295
未払法人税等	161,409	166,907
賞与引当金	34,833	36,449
資産除去債務	2,171	-
その他	217,712	181,451
流動負債合計	3,540,031	3,460,078
固定負債		
長期借入金	143,607	191,564
リース債務	281,515	244,070
繰延税金負債	1,758	1,120
役員退職慰労引当金	379,644	376,980
退職給付に係る負債	184,123	178,550
資産除去債務	171,866	176,383
その他	18,331	16,647
固定負債合計	1,180,846	1,185,317
負債合計	4,720,877	4,645,396
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	320,300	320,300
資本剰余金	259,600	259,600
利益剰余金	5,104,775	5,541,123
自己株式	△57	△57
株主資本合計	5,684,618	6,120,966
純資産合計	5,684,618	6,120,966
負債純資産合計	10,405,496	10,766,362

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	27,226,474	28,740,132
売上原価	19,964,834	21,343,076
売上総利益	7,261,639	7,397,055
販売費及び一般管理費	6,460,496	6,520,677
営業利益	801,143	876,378
営業外収益		
受取利息	2,240	2,077
受取手数料	18,883	18,740
固定資産賃貸料	11,936	11,389
情報提供料収入	6,049	5,624
その他	5,705	4,110
営業外収益合計	44,814	41,941
営業外費用		
支払利息	4,595	6,318
固定資産賃貸費用	1,360	1,269
その他	198	722
営業外費用合計	6,154	8,310
経常利益	839,803	910,009
特別利益		
固定資産売却益	950	-
特別利益合計	950	-
特別損失		
減損損失	22,388	23,812
固定資産除却損	2,450	-
特別損失合計	24,838	23,812
税金等調整前当期純利益	815,914	886,197
法人税、住民税及び事業税	298,025	280,944
法人税等調整額	△81,910	2,352
法人税等合計	216,115	283,297
当期純利益	599,799	602,899
親会社株主に帰属する当期純利益	599,799	602,899

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
当期純利益	599,799	602,899
その他の包括利益		
包括利益	599,799	602,899
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	599,799	602,899

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	320,300	259,600	4,671,528	△57	5,251,371	5,251,371
当期変動額						
剰余金の配当			△166,552		△166,552	△166,552
親会社株主に帰属する当期純利益			599,799		599,799	599,799
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						-
当期変動額合計	-	-	433,247	-	433,247	433,247
当期末残高	320,300	259,600	5,104,775	△57	5,684,618	5,684,618

当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	320,300	259,600	5,104,775	△57	5,684,618	5,684,618
当期変動額						
剰余金の配当			△166,552		△166,552	△166,552
親会社株主に帰属する当期純利益			602,899		602,899	602,899
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						-
当期変動額合計	-	-	436,347	-	436,347	436,347
当期末残高	320,300	259,600	5,541,123	△57	6,120,966	6,120,966

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	815,914	886,197
減価償却費	204,915	166,977
減損損失	22,388	23,812
のれん償却額	115	115
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,750	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,434	1,616
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	22,460	△2,663
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,830	△5,573
受取利息	△2,240	△2,077
支払利息	4,595	6,318
有形固定資産売却損益 (△は益)	△950	-
固定資産除却損	2,450	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△44,963	△84,462
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△120,317	△324,963
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,239	144,399
未払金の増減額 (△は減少)	23,457	△508
その他	49,562	23,623
小計	951,133	832,811
利息の受取額	2,256	2,078
利息の支払額	△4,598	△6,318
法人税等の支払額	△275,536	△276,672
営業活動によるキャッシュ・フロー	673,255	551,898
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△216,060	△240,063
定期預金の払戻による収入	192,056	216,059
有形固定資産の取得による支出	△102,125	△80,342
有形固定資産の売却による収入	1,050	-
有形固定資産の除却による支出	△2,450	-
無形固定資産の取得による支出	△1,799	△3,495
資産除去債務の履行による支出	△5,777	△2,200
敷金及び保証金の差入による支出	△34,026	△29,762
敷金及び保証金の回収による収入	16,582	8,504
その他	△2,970	1,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,520	△130,204
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,000	△2,000
長期借入れによる収入	500,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△487,498	△497,913
リース債務の返済による支出	△63,265	△73,441
配当金の支払額	△166,485	△166,633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,249	△239,988
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	306,484	181,706
現金及び現金同等物の期首残高	3,439,130	3,745,615
現金及び現金同等物の期末残高	3,745,615	3,927,321

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループにおいては、小売事業以外の重要なセグメントはありませんので、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)		当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)	
1株当たり純資産額	443円70銭	1株当たり純資産額	477円76銭
1株当たり当期純利益	46円82銭	1株当たり当期純利益	47円06銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	599,799	602,899
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	599,799	602,899
期中平均株式数 (株)	12,811,720	12,811,720

(重要な後発事象)

該当事項はありません。